

農場通信 2026年 1月号



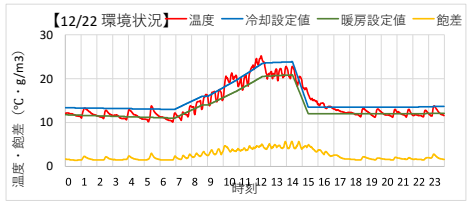
2025/12/25



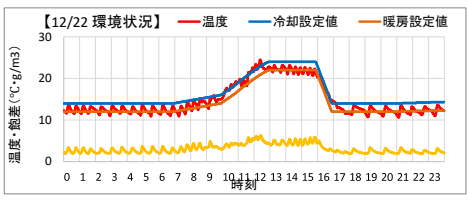
トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② 大玉トマト短期品種比較試験(2作) ③ 2025/7/28 ④ 2026/1月中旬


<div>品目</div> <div><div>栽培中</div><div>栽培準備中</div><div>今月最終</div></div>	<div>圃場写真①</div>	<div>圃場写真②</div>
<div>直近の環境データ・管理方法(晴天日)</div> <div>※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています</div>		<div>大玉トマト 年内作</div> <div></div> <div></div> <div>大玉トマトの品種比較栽培を行っているハウスです。7月4日に播種、7月28日に定植を行いました。 11月10日に摘芯を行い、1月中旬まで収穫予定です。どの品種も残り、4段程度で収穫終了いたします。昼夜温度差で玉肥大は良好で着色を待っている状態です。品種によって着色スピードに差があります。TTM177はどの品種よりも着色日数が短いですが、小玉傾向にあります。今後はECも徐々に下げ、1月中旬に収穫終了を目指します。</div>

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/7/28 ④ 2026/6月末 ① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2025/8/18 ④ 2026/6月



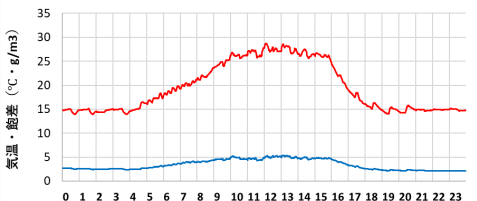
<div>ミニトマト</div>	<div></div>	<div></div>
<div>【12/22 環境状況】 温度・飽差 12/22 環境状況</div> <div></div>	<div>7月4日に播種、7/28定植。 今作も20品種の比較試験を行います。 高温、短節間、食味、玉肥大の4テーマで栽培。 給液EC2.3、給液量1400ml/株で管理。 12段目を収穫中。現在18段目が開花しています。 全体的に草勢が強くなり、果実の数とサイズも増加傾向。コナジミが飛んでいるので、週1回消毒を行いコナジミ対策をしています。</div>	



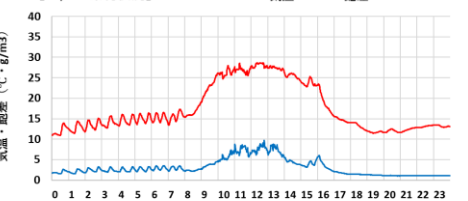
<div>大玉トマト 抑制長期作 (年1作)</div>	<div></div>	<div></div>
<div>【12/22 環境状況】 温度・飽差 12/22 環境状況</div> <div></div>	<div>7月28日播種、8月19日定植。 今年度も20品種の栽培を行っています。 「耐裂果性」・「短節間」・「バランス型」・「玉肥大」の4テーマで栽培中。給液EC2.3、晴天時株あたり1000ccほどで管理を行っています。 現在、10～12段が開花中。ハウス内の室温も下がり、玉伸びがよくなりました。また、草勢の強弱もはっきりしてきました。</div>	

① 第4 D ② バラエティ品種比較試験 ③ 2025/8/19 ④ 2026/4月末 ① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ 2025/9/26 ④ 2026/5月末

<div>バラエティ トマト</div>	<div></div>	<div></div>
<div>7月28日に播種 8月19日に定植を行いました。今作も品種比較試験を行っています。 葉面散布によって草勢は良好です。収量も増加傾向にあります。品種によっては通常より大玉で収穫ができています。一部イエロー品種は落ち込み気味なので、引き続き葉面散布を行う予定です。年末にかけて、予防目的で殺菌剤を散布していきます。</div>		<div>イチゴ</div> <div></div> <div></div> <div>9/26、10/1に定植。品種比較、クラウン温度制御、重量灌水制御の試験を実施中。 EC0.7、給液200mlで管理。 継続的にハチやハナアブで受粉しています。全体的に収穫が始まっています。早いものでは二番花が開花中です。 がく枯れやチップバーンが発生したので、湿度の見直しや葉面散布でカルシウム剤を使用しています。</div>

① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験品種比較試験 ③ 2025/10/14 ④ 2026/4月中旬 ① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/8/15 ④ 2026/7月頃

<div>キュウリ</div>	<div></div>	<div></div>
<div>【12/19 環境状況】 気温・飽差 12/19 環境状況</div> <div></div>	<div>ココバッグを使った養液栽培での品種比較試験を行っています。今作は10/14日に定植。穂木品種8種、台木品種4種で栽培中です。 11月・12月は概ね晴天が多く、収量は順調に出ています。反収換算で1週間あたり約1.2～1.5トン。日射量が最も少なくなる12月末～1月上旬が例年苦しくなる時期なので、草勢を落とさないように管理をしていきます。 具体例としては、早めの摘果、給液ECをやや高め(3.0程度)、夜の最低温度は14℃程度を確保、CO2は1000ppm程度の高濃度で施用、窒素系の葉面散布剤(ヨーゲンアクセル)の施用、など。</div>	

<div>高糖度 ミニトマト</div>	<div></div>	<div></div>
<div>【12/19 環境状況】 気温・飽差 12/19 環境状況</div> <div></div>	<div>穂木品種6種類・台木品種6種類で高糖度栽培での品種比較試験を行います。 定植は8/15、128穴プラグ苗で定植しました。 11月末までに排液ECは20.0を超えて、ECストレスは十分に掛かっていますが、品種により草勢が強いままのものも見られます。少し日中の管理温度が高すぎる気がするので、最高25℃程度になるように設定を変更しました。糖度は高い品種で9度を超えるくらいになっています。</div>	



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第6

② キャベツ品種比較試験

③ 2025/8月～

④ 2026/春



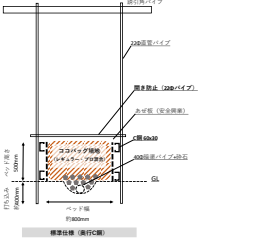
キャベツ		
冬系キャベツ 5作型 ①7/18播種 10月収穫 ②7/28播種 11月収穫 ③8/8播種 12-1月収穫 ④8/20播種 2-3月収穫 ⑤8/25播種 3-4月収穫 春系キャベツ 2作型 ①8/22播種 年明け収穫 ②8/27播種 年明け収穫		年内収穫の作型は調査を行い、今後は在圃性を見ていく状態です。春系品種も一部収穫が始まっています。例年より平均気温はやや低めであり、春系品種はやや遅れ気味です。冬系に関しては2週間ほど早い状態です。病虫害被害は現在見受けられませんが、12月末に高温と、まとまった降雨があったので、年末年始にかけて殺菌剤を散布して病気発生を予防します。

① 第3 M

② アスパラガス柵板式高畝栽培試験

③ 2023/6/2定植

④ 周年

アスパラガス		
		アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。2023年初夏に定植、2024年春から収穫開始。柵板で隔離したベッドにココバグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。10月いっぱいでは収穫は終了しました。前作よりも大幅に収量が伸びていて、反換算で約3.5トンになる品種もありました。12月で地上部が概ね黄化し、転流が完了したので年明けに刈り取りを行います。

① 第8

② 『持続可能な施設園芸』実証試験

③ 2025/8/22

④ 2026/7月末

大玉トマト		
		7月21日に播種、8月22日に定植を行いました。穂木はかれんを使用し、台木はアーノルドやカイゼル等、強勢品種を5種類栽培しています。 3段目の収穫が終わろうとしています。低日照により着色遅れが見受けられますが、草勢としては良好です。やや小玉傾向にあります。 LEDライトによる害虫防除につきましては、効果を発揮している商品があります。誘引効果があるものや忌避効果があるものなど3種類のライトを使用しています。1月下旬に予定している見学会では結果をお伝えできればと思います。

① 第2

② ブロッコリー

③ 2025/08～

④ 2026/春

ブロッコリー		
1作目 8月11日播種 9月3日定植 2作目 8月16日播種 9月10日定植 3作目 8月20日播種 9月16日定植 4作目 8月25日播種 9月20日定植 5作目 9月29日播種 9月25日定植 6作目 9月10日播種 10月5日定植 7作目 9月19日播種 10月15日定植		現在3～4作目を収穫中です。今年度は、黒すす病や菌核病などのおおきな被害なく生育しています。 12月21日の暖かな雨で、寒さと乾燥で停滞していた生育も、動き出しました。一方で、寒い日も年末年始予想されているため、年明け以降で、低温伸張性の評価ができればと思っています。

① 施設栽培

② バコトツプ放飼防除試験

バコトツプ		
今作も、昨年度に引き続き、タバコカスミカメ(商品名:バコトツプ)の放飼を行っております。 キュウリ、トマトハウスともに、大きな問題はなく栽培をしています。一部トマトハウスで、クレオメにうどん粉が発生しています。殺菌剤を散布も完治はしない様子。幸いなことに、トマトには感染していないので、この後も殺菌剤を散布しつつ、様子を見ていきたいと思います。		

① 第7

② 産直野菜

③ 2025/10～

④ 2026/初春

産直野菜		
		今年度も産直品目を栽培します。葉菜類、根菜類を栽培します。 年明けごろより見ごろを迎えます。



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp